ティル・フェルナー（ピアノ）

Till Fellner, Piano

　ウィーン生まれ、ブレンデルやマイセンベルクに師事。1993年のハスキル国際コンクールに優勝して国際的に注目を集めた。

　アバド、ブロムシュテット、ドホナーニ、ハイティンク、アーノンクール、ナガノ、ノット、K.ペトレンコらの指揮者との共演で、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、N響などに客演。室内楽ではテノールのマーク・パドモア、ヴァイオリンのヴィヴィアン・ハーグナー、ベルチャ弦楽四重奏団と定期的に活動している。

　J.S.バッハ「平均律クラヴィーア曲集」とベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲の演奏に力を入れ、後者は2008～10年にかけてニューヨークや東京、ロンドン、パリ、ウィーンなどで全曲演奏会を行った。

　録音も数多く、ECMレーベル専属のアーティストとして、J.S.バッハ「平均律クラヴィーア曲集第1巻」や「インベンションとシンフォニア/フランス組曲第5番」、ナガノ指揮モントリオール響との共演によるベートーヴェンのピアノ協奏曲第4、5番、バートウィスルの室内楽曲、「In Concert」と題したリストとベートーヴェンのライヴなどが発売されている。